

# 2014年度 女子学院中学校入学試験問題 (社会)

受験番号 ( ) 氏名 [ ] (語句はできるだけ漢字で書きなさい。)

## I

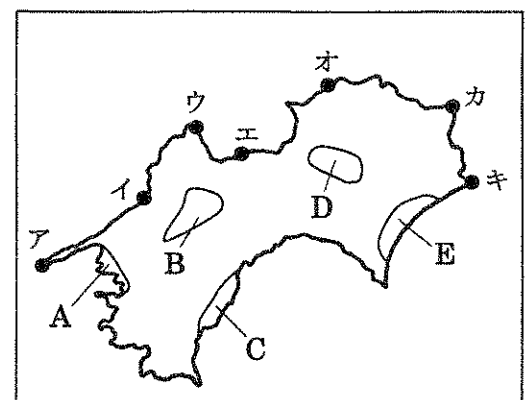
国家や社会で法がどのような働きをしていたのか、歴史の中でたどってみると、今日とは異なった役割を見つけることができます。そして、法の背景にある考え方の、時代ごとの特色も見出すことができます。

古代において法は、支配者が人々を治めるために定めたものでした。聖徳太子(厩戸皇子)のものといわれる「①憲法十七条」は、近代以降の憲法とは異なり、政治に対しての心構えを示したものです。第一条で「和を貴び、さからうことのないように」、第三条で「天皇の詔を受けたら必ず従うように」とあります。7世紀末から8世紀初めにかけて、中国で発展した体系的な法典を取り入れた律令に基づいて②中央集権的な政治を行う国家が成立しました。中央から地方の国郡まで、さまざまな役所で多くの③役人が任命されて勤務しました。この中で天皇の「詔」をはじめとする文書が作成され、公文書の制度が確立しました。④役人の官職は個人の能力に応じて任命されるものとして、官職の世襲(子孫が代々受け継ぐこと)は原則として否定されました。しかし親が高い位にあった場合は、子も高い位につけるしくみがあり、位に応じて役職が設定されていたので、重要な職は世襲されていきました。そして一部の上級貴族が国家の運営を独占することになり、10世紀の後半には⑤摂関政治とよばれる政治が展開しました。⑥大学とよばれる国の役人養成機関で活発に行われていた法律研究と教育は、高位高官が世襲されるようになって衰退しました。政治では先例が重視され、法律を学ぶ者が減少し、しだいに法典の編さんも行われなくなりました。一方、地方では国司が大きな権力を持ち、悪政に憤った人々が中央に訴えて国司の解任を求める動きが活発化しました。承平天慶年間(931-946年)には、国司の役所を攻撃する争乱が、関東と⑦瀬戸内海沿岸で相次いで起こりました。藤原純友の反乱は、伊予(今の愛媛)を本拠地として、瀬戸内海沿岸から今の⑧高知、そして大宰府に及びました。瀬戸内海は物資輸送の大動脈であり、都の人々に与えた衝撃は関東の争乱よりはるかに大きかったと言われています。

- 問1 下線①が定められたころの社会のようすとして、もっともふさわしいものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 近畿地方を中心に、巨大な前方後円墳が造られ始めていた。  
 イ 国司の役所の周辺には、まわりの村落と異なる都市的な風景が広がっていた。  
 ウ 多くの私有地を持ち、農民を従えた豪族が、たがいに勢力争いをしていた。  
 エ 仏教が説く極楽浄土へのあこがれから、熊野もうでがさかんに行われた。
- 問2 下線②の政治の中心として、8世紀初めにつくられた都を答えなさい。
- 問3 下線③は年に2回、位に応じて、農民が税として納めた布などの支給を受けました。布やその土地の特産物で納める税を何といいますか。
- 問4 下線④の方針は、聖徳太子が定めたとされる制度にすでに現れています。その制度の名前を答えなさい。
- 問5 下線⑤の時期には、それまでとは異なる特徴を持った文化が展開しました。その背景となった、対外関係の変化を答えなさい。
- 問6 下線⑥が衰退した後、漢学を継承し、室町時代に多くの僧が学んだ学問所はどこですか。ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 開智学校 イ 足利学校 ウ 松下村塾 エ 湯島聖堂
- 問7 下線⑦の瀬戸内海および四国の現在のようすについて、次の問いに答えなさい。

(1) 四国は橋で本州とつながっています。本州方面へ向かう橋がかかっている場所を、地図1のア～キから3カ所を選び、記号で答えなさい。

地図1

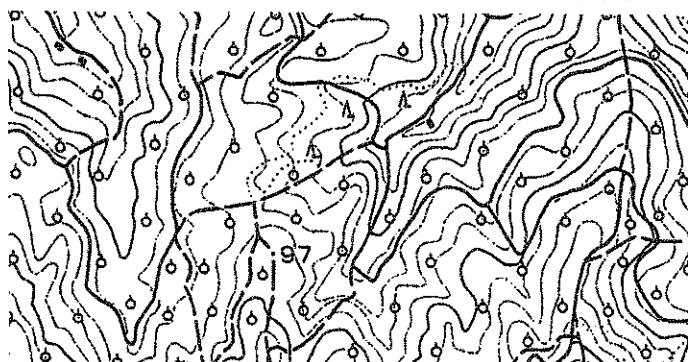


(2) 本州と橋で結ばれたことによって、四国側の県ではどのようなことが起こりましたか。

あてはまらないものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 観光客がその橋を見にやってくるようになった。  
 イ 橋の完成後から人口が増加し続けている。  
 ウ 生産された農産物が、短時間で出荷出来るようになった。  
 エ 本州に通勤通学で通う人が増えた。

(3) 下の地形図のようすが、もっとも広い範囲で見られる場所を、地図1のA～Eから1つ選び、記号で答えなさい。(国土地理院発行1:25000地形図を拡大)



(4) 四国の県境の位置を正しく表した図を、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



(5) 次のA～Dは、四国の4つの県の人口と人口密度を表しています。A～Dにあたるものを、ア～エから選び記号で答えなさい。

ア 香川    イ 愛媛    ウ 徳島    エ 高知

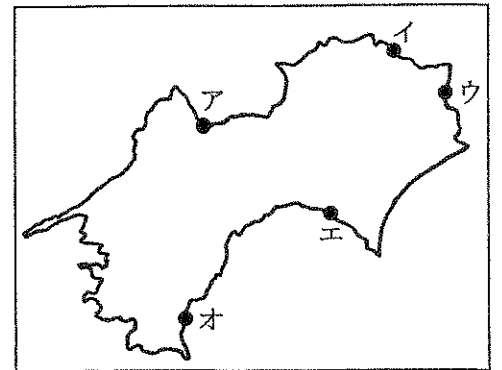
	人口 (万人)	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
A	98.9	527.1
B	77.6	187.0
C	75.2	105.8
D	141.5	249.2

※2012年10月1日現在 (日本国勢図会 2013/2014より)

(6) 次のXとYの文は、四国を流れる2つの河川<sup>かきん</sup>についてのものです。あてはまる河川の名前を答え、  
河口の場所を右の地図2のア～オから選び、記号で答えなさい。

地図2

- X 「日本最後の清流」といわれる河川で、川の周辺には豊かな自然が残っている。  
Y 降水量が少ない地域の水源として、重要な役割を果たしている河川で、  
上流には四国最大規模のダムがある。



(7) 次のE～Hは、四国の県における海での漁業と養殖業の生産量(2009年)を表しています。  
E～Hにあたるものを、ア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 香川    イ 愛媛    ウ 徳島    エ 高知

	E	F	G	H
漁業漁獲量	74880	82062	24443	14087
養殖業収穫量	78805	20071	35464	16571

※単位はトン(データでみる県勢 2012より)

(8) 四国の沿岸で養殖されていない海産物を、ア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

ア まだい    イ はまち    ウ ほたて貝    エ 真珠    オ かき    カ のり

問8 下線⑧で野菜の生産が盛んになった理由として関わりが深いものを、ア～オから3つ選び、記号で答えなさい。

ア 8月の平均気温    イ 高知沖の海流    ウ 1月の晴天日数    エ 交通網の整備    オ 4月の風向き

## II

院政の時代を経て武士が成長し、①関東に武家の政権である鎌倉幕府が成立しました。この時代は、御恩と奉公に代表されるように、人と人の関係が土地をなかだちとして表れたため、②1232年に制定された御成敗式目(貞永式目)では、土地に関わる条文が半分ほどを占めます。各地に発達した荘園では、自分たちでは解決できない紛争が訴訟となり、幕府に裁判を求める人が鎌倉にやってきました。鎌倉幕府では増加する紛争解決のための裁判制度を整備しました。③13世紀半ばから、④貨幣経済の進展とともに、式目には金銭の貸し借り、土地の売買に関する追加法令が増えてゆきます。

室町時代は⑤地方分権が進み、力をつけた人々は支配者から法の命令を受けるだけでなく、自ら法をつくって地域を治めるようになりました。

⑥戦国大名は、領国を統一的に支配するために、自らを「公儀」と称するなど、公権力の担い手として分国法を制定しました。

戦いの時代が終わり、徳川家康が江戸幕府を開き、⑦武家諸法度、禁中並公家諸法度を定めて支配の枠組みを示しました。村では領主から出された法令を守るように五人組単位で誓約書の提出が要求されました。幕府や藩の武士は儒学的道徳を身につけていたので、法も儒学の観点から議論されました。18世紀から⑧生産や経済活動の活発化によって地域社会は変化し、幕府や藩には庶民の訴訟が多く持ちこまれるようになりました。「公事方御定書」が制定されたのも、訴訟処理のために基本法典が必要となったからでした。18世紀半ばから百姓一揆が増加し、幕府は一揆禁止の法令を出し、以後も告知を繰り返しました。18世紀後半になると、村だけでは対応できない問題も多く発生し、いくつもの村で共同して、きまりをつくる動きが見られます。たとえば、「米穀の他国・他郡への移出禁止」などを定めたものが、の対策として見られます。地域が連携し、大がかりな闘争も見られるようになり、大坂(阪)では786もの村が綿問屋の流通支配に対抗して、⑨1823年に大坂奉行所へ取引の自由化を訴えました。このような人々の連携と大きな社会変動の中で、江戸幕府が倒れ、近代国家をめざして明治政府が成立しました。

- 問1 下線①について、源頼朝が幕府を開く場所として鎌倉を選んだ理由を、地形の特色から説明しなさい。
- 問2 下線②で定められている内容としてふさわしいものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 御家人ではない者も、いつでも幕府の指示に従って、戦場に駆けつけて戦うように。  
 イ 茶を飲む派手な集会や、国産の陶磁器の大きかりな取引はやめるように。  
 ウ 地頭が年貢を納めずに留め置いていると荘園領主から訴えがあったら、地頭はすぐに納めるように。  
 エ 朝廷からの許しが出て、荘園ごとに守護を設置することが決定したので、喜んで任務を果たすように。
- 問3 下線③に関して、ア～ウのできごとを、古い順に記号で並べかえなさい。
- ア 御家人の竹崎季長がほうびを求めて鎌倉に行く  
 イ モンゴルが高麗を従える  
 ウ 対馬を元軍が攻撃する
- 問4 下線④に関して、現在の貨幣について述べた文として正しいものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 世の中のいろいろな商品の値段が継続的に下がっても、貨幣の価値が変わることはない。  
 イ ドルなどの他国の通貨と円はいつも同じ割合で交換できるため、通貨がちがっても貿易することができる。  
 ウ 現在、すべての国家はそれぞれちがう通貨を使用している。  
 エ 2つの異なる商品の値打ちを、貨幣の量で表すことで比較できる。
- 問5 下線⑤に関して、現在の地方分権の理念に合わないものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 国が推進したい事業について、地方自治体に補助金を出す。  
 イ 国に納める税金を減らし、地方自治体に納める税金を増やす。  
 ウ 市町村ごとに、学校のクラス定員や、どの教科書を使うかを定める。  
 エ 法律には定められていない事がらを条例で定める。
- 問6 下線⑥のうち、今の大分県を中心に勢力をほこった一族を、氏で答えなさい。
- 問7 下線⑦に関して、1635年に徳川家光が出した武家諸法度には「五百石積み以上の船をつくることは禁止する」との条文が加えられました。  
 (1) どのような人々に向けて、(2) なぜ、このような命令がこの時期に出されたのか説明しなさい。
- 問8 下線⑧について、江戸時代に各地でつくられた、なたねの種は、主に何に加工されましたか。
- 問9 文中のにあてはまるものとして最もふさわしいものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 農村の人口不足    イ 銀不足    ウ 質素儉約令    エ ききん
- 問10 下線⑨について、この頃大坂町奉行の役人をしており、後に挙兵して大商人などを襲い、幕府に衝撃を与えた人物を答えなさい。

### III

近代において、法は人々が自らの権利を主張する根拠としても、用いられるようになりました。大名は「五箇条の御誓文」に署名することで明治政府に従うことにしました。この意味で「五箇条の御誓文」は、明治政府が大名と結んだ約束であるといえるでしょう。1871年、政府は廃藩置県を断行します。領主が地域ごとに人々を治めていたしくみに代わって、中央政府が国内を同じ基準で治めるしくみがつくられました。この頃、①政府が定めた法令には農民の負担を増やすものはいくつもあり、追いつめられた人々が一揆を起こすようになりました。一方、政府を追われる形となった旧藩の藩士たちには、言論で政府に対抗しようとする人々もいました。こうして始まったのが②自由民権運動です。民権派は「五箇条の御誓文」の考え方と、③天賦人權論、つまり基本的人権は天(神)が人に与えたものだとする欧米の考え方を結びつけました。自由民権の考え方は地方にも広まりました。人々は自分たちの時代が来つつあると感じていたのです。

政府は欧米の法律制度を積極的に学び取ることに努めました。それは、欧米の法制度にならって国内の法制度を整えることが、国の独立を守る上で大切なこととして意識されていたからです。そのため、④欧米から学者を招いたり、欧米に留学生を派遣したりすることがさかんに行われました。1880年代に政府はさまざまな法律を制定しましたが、それは欧米に「文明国」として認められることと、自由民権運動に対処することを目的としていました。

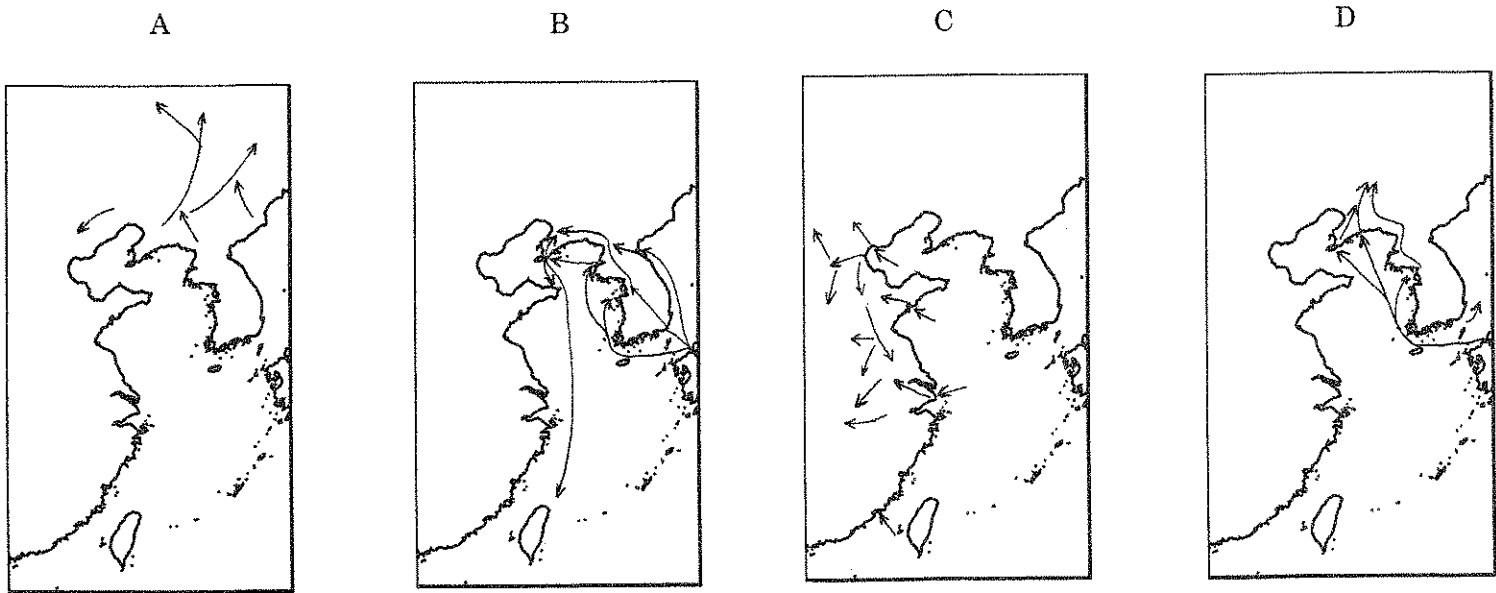
1889年、政府は⑤大日本帝国憲法を制定しました。⑥天皇の権限が強く定められたとはいえ、⑦この憲法で法律の制定にあたって政府の権限が制限されるようになったことは大きな意味があります。一方、欧米に文明国と認められるようになったことで、指導者の意識は保守的になりました。憲法や民法などにおいて、⑧女性の地位が低く抑えられたことなどにそれが現れています。明治時代の日本は「強い男性」にだけ、自由があったと言ってもよいでしょう。個人のが保障された結果、経済活動は活発になり、機械を用いた工業が発達しました。20世紀を迎える頃、欧米諸国は世界中に植民地を広げつつありました。日本も日清・日露の両戦争を通じて経済力以上の軍事力を持つ強国としての地位を築いていきます。一方、戦争を通じて負担に苦しんだ人々は、戦争が終わると政治的な要求を政府に対して出すようになりました。

- 問1 下線①について、農民の経済的な負担が増えたから起きたのではないものを、ア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 身解放令反対一揆    イ 学制反対一揆    ウ 徴兵令反対一揆    エ 地租改正反対一揆





問4 下線④に関して、A～Dの地図中の矢印(→)は、明治以降の戦争における、日本軍のおもな進路を示したものです。それぞれ何という戦争か、下のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。



ア 日清戦争      イ 日露戦争      ウ 満州事変      エ 日中戦争(1939年頃まで)

問5 下線⑤に関して、戦前から戦後の教育制度について述べた文として、間違っているものをア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 学制によって、はじめて全国の義務教育制度が作られた。
- イ 学制が実施され、授業料は無料となった。
- ウ 戦後、新しい教育制度が施行されたのは、日本国憲法施行の年であった。
- エ 戦後、公立中学校は、原則的に男女共学となった。

問6 下線⑥に関して、次の問いに答えなさい。

- (1) 1941年に置かれた、初等科6年と高等科2年を統合した義務教育機関を答えなさい。
- (2) 現在、どうして義務教育は無償と定められているのでしょうか。「私たちには、があるから」のにあてはまる、憲法に書かれている言葉を、10字以内で書きなさい。

問7 下線⑦の目的で、戦後まもなく新たに置かれた授業の科目名を1つ答えなさい。

問8 下線⑧で、「この憲法を尊重し擁護する義務を負う」と定められているものを、ア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア 国民      イ 国務大臣      ウ 国会議員      エ 裁判官

問9 以下は日本国憲法の前文の一部です。次の問いに答えなさい。

そもそも国政は、国民の厳粛な( X )によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の( Y )がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。

- (1) ( X )にあてはまる語句は何ですか。ひらがなで書きなさい。
- (2) ( Y )にあてはまる語句をア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 統治者      イ 代表者      ウ 元首      エ 総意      オ 一部

